





































チャレンジ項目記入数

6

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・雇用、福利厚生、教育、昇給、昇進等のあらゆる雇用条件で差別しない体制を構築している。各種ハラスメントに関しても、代表者より従業員への周知を行い、何かあった場合でも相談しやすい体制を整えている。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・特定自主検査等で年に1回以上、重機等の点検確認を実施している。各現場ごとに安全協議会を立ち上げ、安全訓練を月に1回実施している。			3					8.8									
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・同一労働同一賃金ガイドラインに沿って、従業員(正社員、パート等全ての従業員)の公正な待遇を行っている。					5.5			8.5		10.2 10.3							
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・残業時間の徹底した管理や、雨天時を休みに振り替えることにより、作業の効率化を進め、結果的に労働時間の短縮に繋がっている。働き方改革による業務効率UPを目指し、社員の家事・育児・介護・通院等との両立を手助けしている。			3		5.5			8.5 8.8		10.3							
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・資格取得を希望する従業員の各種研修受講や、資格取得に必要な経費を支給することにより、従業員の学びたい気持ちに応え、能力UPの機会を提供している。				4	5.5			8	9								
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・自社で健康診断の全額負担を行うことで、従業員が受診しやすい環境づくりをしている。万が一、要再検査になった場合も早急に受診できるよう配慮し、心身ともに健康でいられるような職場環境づくりをしている。			3					8									17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・業務運営や昇進・昇給等において、人種・性別などの違いによる差別はない。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●	・積極的にオンライン講習を受講している。テレワークや時差出勤を導入し、県内の感染状況を見ながら、必要な時にはすぐに移行できるように準備している。消毒液の設置、換気扇のみでなく、窓開け等で定期的な換気を行っている。			3					8	9.1		11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●									8	9.1		11	12					
	21	【ブライト企業】 ・ブライト企業に認定されている。		●				3	4				8	9			12					

チャレンジ項目記入数

6

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・有害化学物質を把握し、産廃・リサイクル等の区分分けを適切に行うように、教育を徹底している。産廃マニフェストに基づき、専門業者に委託し、適切に処理している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・電力、ガソリンについて使用料を記録している。同じ現場で作業する者同士、乗り合わせて現場に向かうようにする等、電力やガソリンに無駄な使用がないかを常に確認している。休憩時間や席不在の際は、消灯を励行しており、併せてエアコンの温度設定を室内にいるものでこまめに管理している。							7.3						13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・簡易計算シートにより排出量を把握し、排出抑制に取り組んでいる。事務所の窓にカーテンを設置。西日の強い窓には壁面緑化を2025年5月に設置している。併せて節電節水も徹底する事で、事務所内の空調温度を安定させることが可能になり、温暖化対策に繋がっている。アイドリングストップなど、全社員にエコドライブを周知している。2022年6月に国土交通省排出ガス対策型のバックホーを購入し、CO2排出量削減に繋げている。		2.4						7.2 7.3 7.a				12.4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・買い物に出る際、誰でも使用出来るように、事務所内と全社用車にエコバックを常備。廃プラやレジ袋削減に努めるように意識を共有している。河川工事に於いて、河床掘削工事を行う際、濁りの発生を抑える為、汚濁防止等対策氏、生態系等の環境に悪影響を及ぼさないように、万全な対策を行っている。						6.6								14	15		
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・事務所、現場事務所において、ごみの分別を徹底している。ペットボトルキャップを収集し、スーパーに持参。海外の子供たちへのワクチン接種に微力ながら貢献している。裏紙を社内印刷やメモ帳として使用し、3Rに取り組んでいる。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15		
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・掃除に使用したバケツの水を、樹木やプランターの水やりに使用したり、水を出しっぱなしにせず、必要な分だけ出す等、熊本の素晴らしい水資源の保全に取り組むべく、こまめな節水を全従業員で心掛けている。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・コピー用紙は、グリーン購入法総合評価値80の再生紙利用を推進しており、出来る限りリサイクル製品を使用している。									9.4			12.4 12.5	13	14	15		
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●	・事務所内で使用するお茶やお茶菓子、社内の冷蔵庫の飲食物は、担当者がこまめに賞味期限を管理し、冷蔵庫に賞味期限を記入した一覧表を貼り付けて管理している。また、社内でする茶菓子は割引品やおつとめ品を優先的に購入し、身近なところから食品ロスの削減に取り組んでいる。	1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●	・自社敷地内の植栽や、各現場事務所に季節の花を植えたプランターを設置し、緑化に取り組んでいる。また、西日の強い窓に壁面緑化を施すことでエアコンの使用減に繋がるよう、管理に取り組んでいる。											11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●							6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●							6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●	・社内でもエコバックの常用、マイコップ・マイ箸の使用を推進し、プラスチック使用削減に取り組んでいる。												12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●										9.4		11.2		13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2




















更新

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト 事業者名: 明和建設株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。  
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

チャレンジ項目記入数6

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																							
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・各現場ごとに品質証明員を認定し、工事の各段階において、材料検収を含め、品質の安全性を確認している。			3.9						9			12.4						
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・社内広報等のお知らせは、障がい者・高齢者を含めた誰も見やすいフォントで制作し、スムーズな情報伝達が出来るようにしている。階段には手すりを設置し、事務所内はコードに引っかからないよう、カバーをつけて動きやすい環境の整備を行っている。現場に設置する注意看板には誰もが一目で理解できるように、大きなフォントや絵で分かりやすい表示に取り組んでいる。									9.1	10	11.7						17	
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●	・現場で使用する道路側溝、マンホール本体、L型擁壁、間知ブロック等の二次製品について、熊本県産の原材料を積極的に使用している。			2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1		15			
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に取り組んでいる。		●					2.3 2.4					8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・熊本県や御船町とボランティア協定を結び、地域清掃活動等にも積極的に参加している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・ハザードマップを設置、従業員に周知を徹底し、災害時等の緊急時にも出勤できるよ体制を整えている。				4							11.5		13.1			16		
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●			1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●										9		11	12	13.1					
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●					4					8.6		10.2							17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●					4.4					8.5 8.6									17
50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●				2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17	

25 25

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。  
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

4